

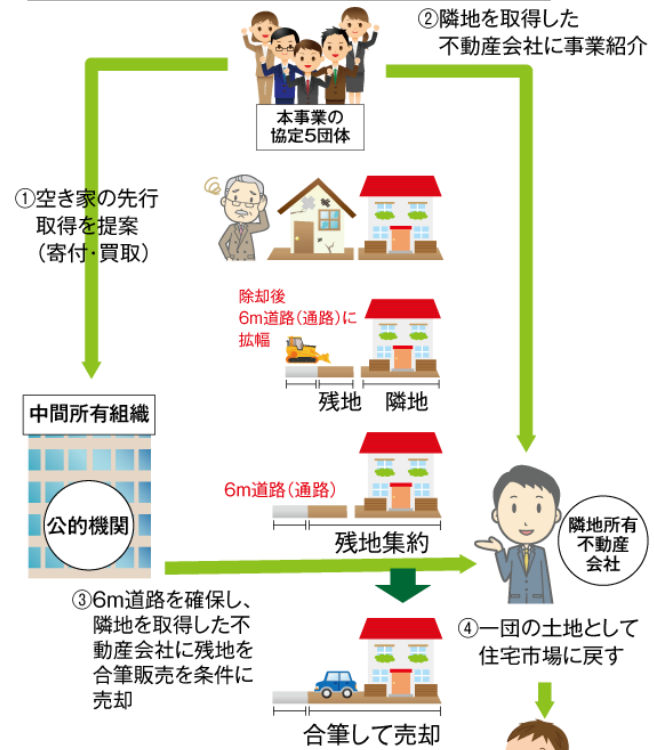
課題	介護施設入所時の空き家の発生と、市場性を失った空き家の再流通
目的	施設入所時に空き家の管理を啓発。空き家の市場流通支援。
取組内容	介護施設入居者と親族に管理義務を啓発。専門家による相談体制の構築と市場流通支援。再流通に有効な前面道路拡幅(6m)と、中間所有組織を介した空き家の隣地集約。
成果	新潟市から介護施設を介して、入所者と親族に空き家の管理啓発が来年度以降行われる。モデル事業として、民民による隣地集約や、中間所有組織を介した隣地集約。新潟市と業界団体による空き家を使った道路拡幅の検討。

課題解決方法

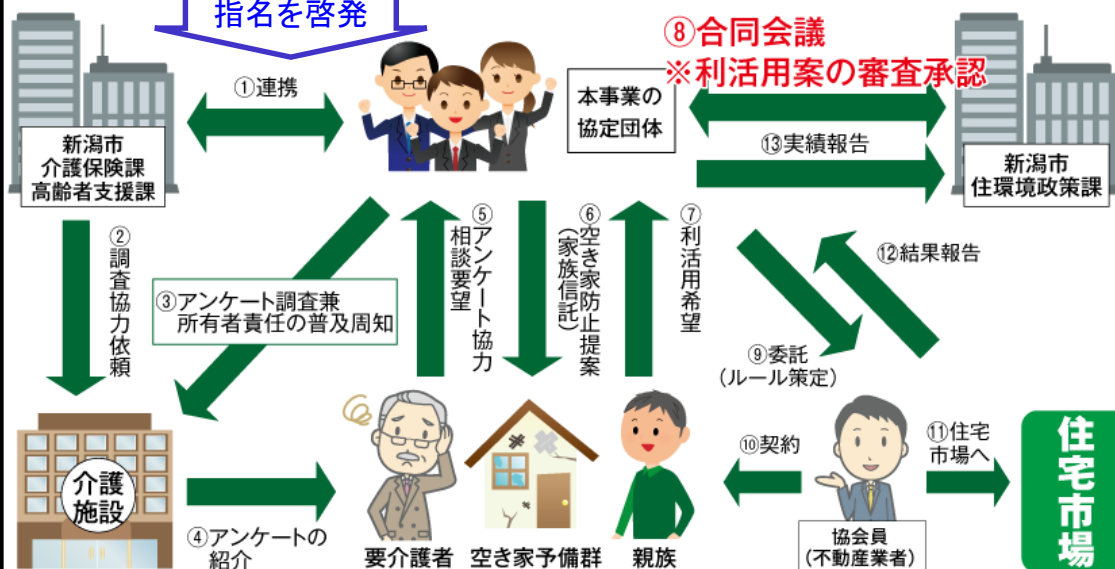
- ・市場性を失った空き家が問題となる対策
  - ⇒ 中間所有組織を介して隣地に集約
  - ⇒ 空き家解体時に前面道路6mを確保する
- ・空き家の発生対策
  - ⇒ 所有者の管理責任に対する啓発
  - ⇒ 介護施設を通じて入所時に啓発書を配布

市場流通性を失った物件を道路(通路)の拡幅に活用。残地を隣地集約し住宅市場に戻す。

中間所有組織による先行取得



空き家の管理責任者の指名を啓発



**空き家減戸効果**  
 空き家2戸を前面道路(通路)6mの住宅1戸として、住宅市場に戻せる。